

7 - 12 近畿地方の地殻変動

Crustal Movements in the Kinki District

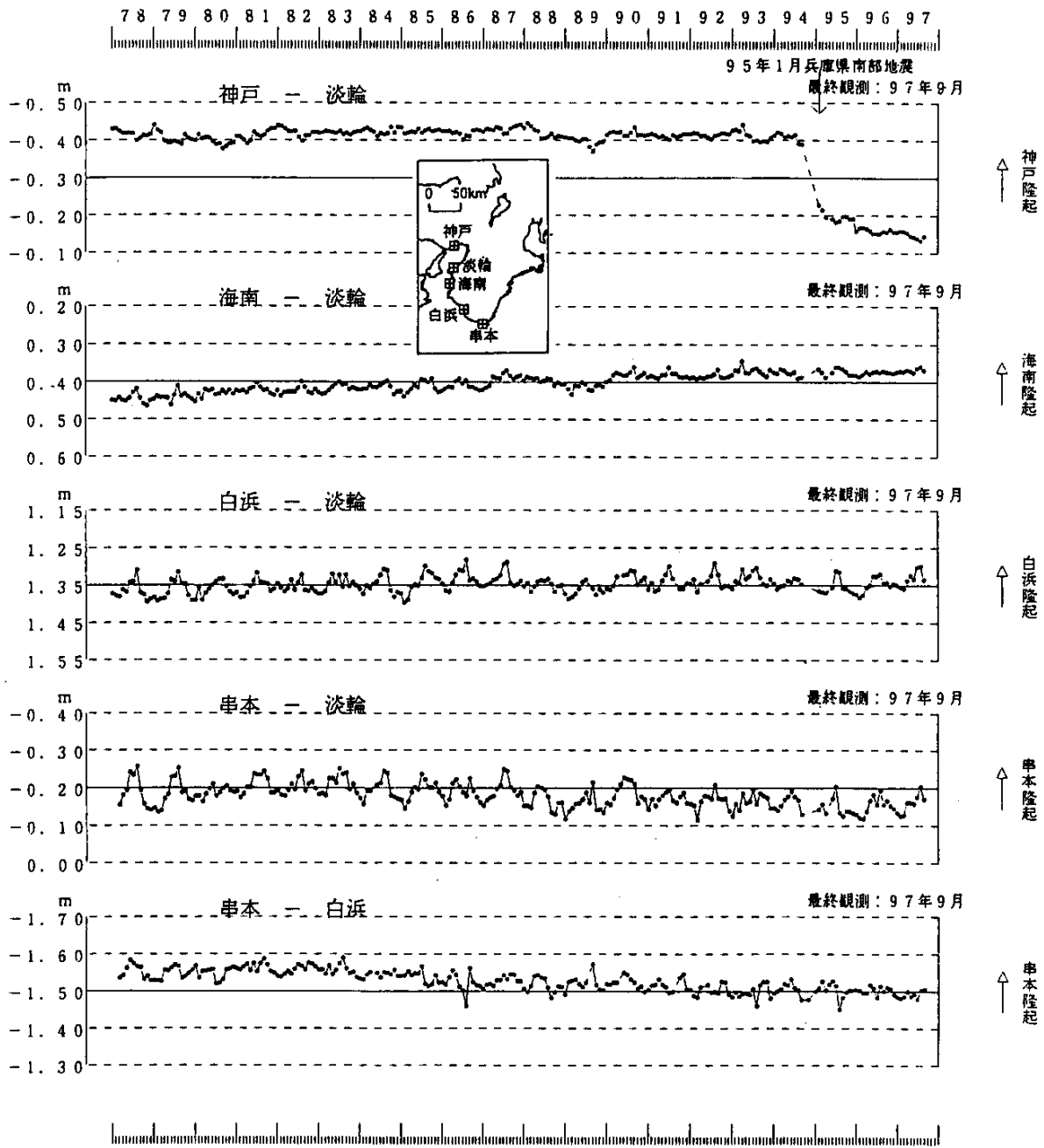
国土地理院
Geographical Survey Institute

第1図は、近畿地方の各験潮場間の月平均潮位差を示した図である。神戸で1995年の兵庫県南部地震に伴う大きな沈降がみられるが、その後もわずかに沈降を続けているようにも見える。串本は長期的に沈降の傾向にあり、海南は淡輪に対して隆起の傾向が続いている。

第2図は、GPS連続観測点により1995年兵庫県南部地震以降の地殻変動を追跡したものである。震源断層の終端に近い94901の点で、地震後の余効変動があってから定常状態に戻る過程が見られる。

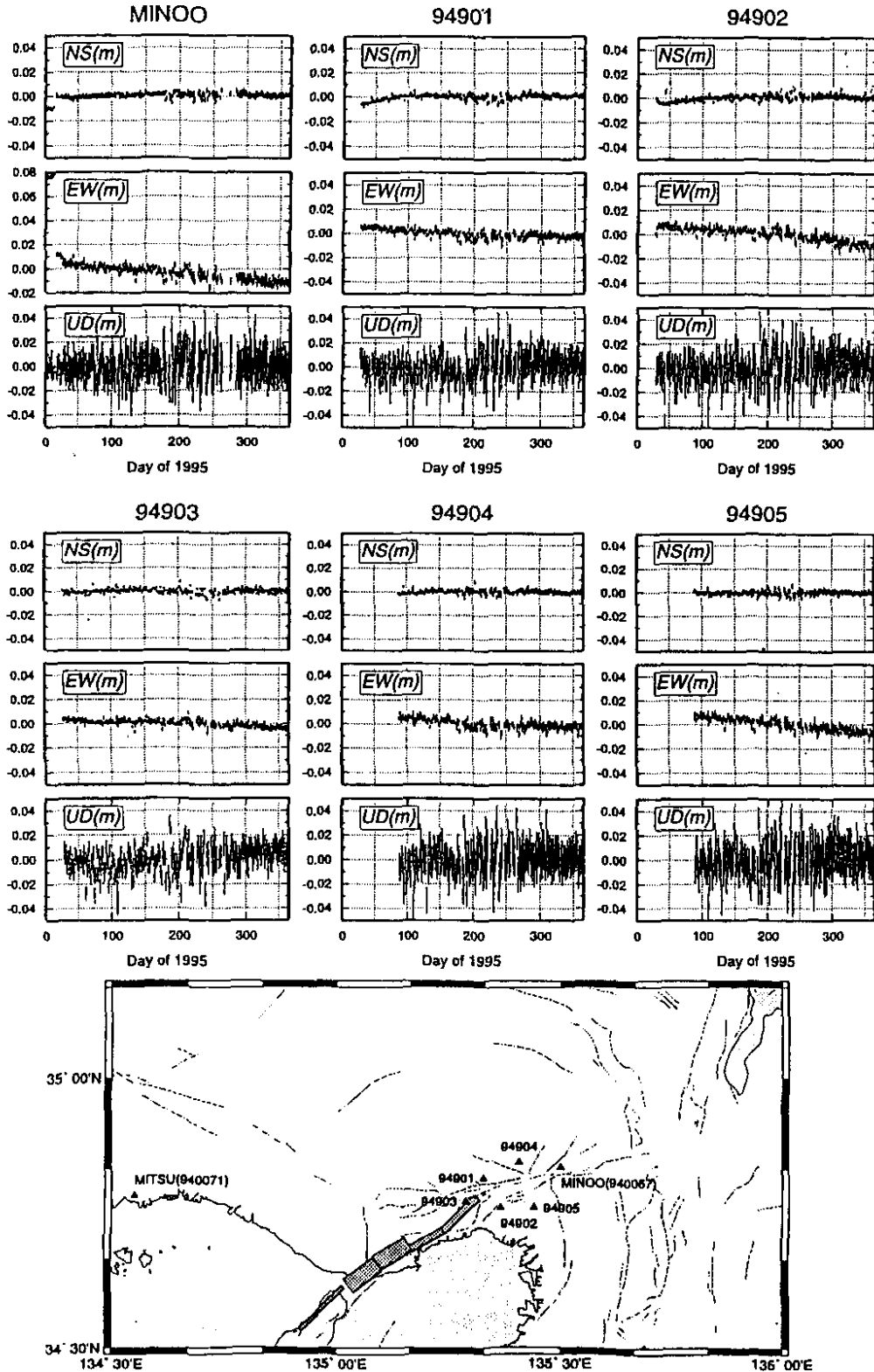
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：近畿地方の地殻変動，連絡会報，54 (1995)，663-687 .
- 2) 国土地理院：近畿地方の地殻変動，連絡会報，55 (1996)，521-536 .
- 3) 国土地理院：近畿地方の地殻変動，連絡会報，56 (1996)，475-486 .
- 4) 国土地理院：近畿地方の地殻変動，連絡会報，57 (1997)，543-544 .
- 5) 国土地理院：近畿地方の地殻変動，連絡会報，58 (1997)，505-508 .



第1図 近畿地方各験潮場間の月平均潮位差

Fig.1 Differences in monthly mean sea levels between the tidal stations along the coast of the Kinki District.



第 2 図 GPS 連続観測による兵庫県南部地震の余効変動：御津固定

Fig.2 Crustal deformation following to Hyogo-ken Nanbu Earthquake observed by GPS continuous observations in the Kinki district relative to Mitsu.